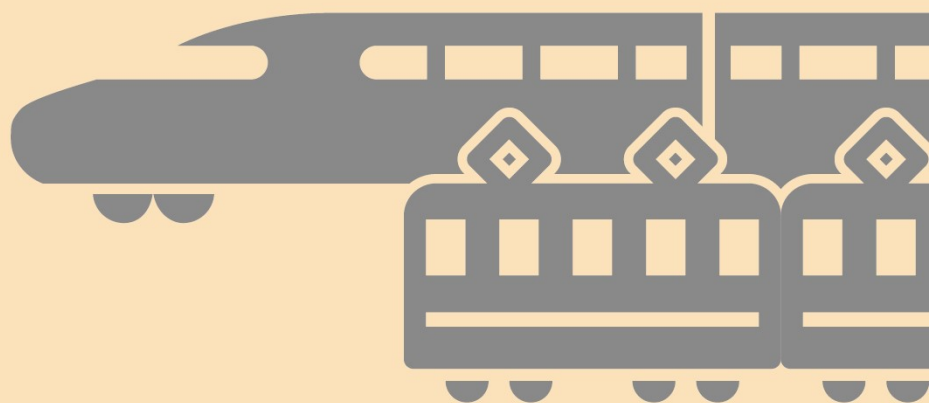


第2次福井市都市交通戦略

福井駅周辺地区交通戦略

福井をみて、感じて、楽しんで 歩きたくなるまちなか

概要版



令和3年12月
福井市



福井駅周辺地区交通戦略とは

福井市では、令和3年3月に、市域全体のまちづくりと連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るため、「第2次福井市都市交通戦略」を策定しています。

今後、北陸新幹線福井開業等に伴い、市内外からこれまで以上に多くの人の来訪が想定される中、観光・ビジネス等で福井駅周辺を訪れる人だけでなく、障がいのある方や高齢者、子どもたち、また、福井駅周辺に住む人など、だれもが快適に、楽しんで歩いてもらえる、人中心の魅力的な都市空間を形成し、地区の価値向上につなげていくことが求められます。

そのため、福井駅周辺を対象に「歩く」という視点に主眼を置き、民間のまちづくり活動と連携した魅力的な都市空間、快適に回遊できる都市空間の形成に向け、「福井駅周辺地区交通戦略」を策定し、各種施策を戦略的に推進します。

※本戦略の対象区域を「まちなか」と呼称します。

福井駅周辺地区におけるまちづくりの課題

戦略では、現状だけでなく、今後の「まち」の変化を踏まえたまちづくりの課題を抽出し、それらに対応する取組みを検討します。

まちなかの現状

○居住人口の減少と空洞化への懸念

○駐車場、自転車駐車場の整備

○福井駅周辺のにぎわい（歩行者・自転車通行量）の時間や場所による分散

○公共交通利用者の増加

○リノベーションによる空き店舗数の減少

○観光需要と観光消費の高まり

○にぎわい増加への期待感の高まりによる公示地価・路線価の上昇

○都市基盤整備の進行による回遊性向上や東西交通の円滑化

今後の「まち」の変化

◆北陸新幹線福井開業

- ・移動時間の短縮や新しい旅行先が選択可能となり、ビジネス、観光客などの交流人口の増加が見込まれる

◆市街地再開発事業

- ・文化、交流、居住、商業、業務等が複合した施設により、居住人口の増加やにぎわいの増加、経済効果が見込まれる



まちづくりの課題

楽しみながら歩き、
滞留できる道路空間づくり

楽しみながら歩き、
滞留できる仕掛けづくり

多様な利用者のニーズに
対応したアクセスの改善

福井駅周辺地区交通戦略の目標と基本方針

地区交通戦略の目標

福井を見て、感じて、楽しんで 歩きたくなるまちなか

《コンセプト》

- まちなかに行きたくなる
- まちなかのどこから出発しても快適に目的地へ到達できる
- まちなかには、にぎわいを感じるみち、楽しめるみち、歩きたくなるみちがある
- まちなかだから体感できることがあり、また行きたくなる

基本方針

① まちなかを歩きたくなる道路空間の創出

観光等で福井を訪れる人や県内各地からまちなかを訪れる人にとっては、まちなかに散りばめられた福井の自然、歴史、文化を感じ、まちなかに暮らす人にとっても、天候に左右されず、安心して安全に歩くことができ、やすらぎを感じるとともに、人が行き交いにぎわいを感じる、歩きたくなる道路空間の創出を目指します。



② 道路空間を活用した、魅力あるまちなかにする取組みの実施

道路空間を活用した多様なまちづくりの主体（プレイヤー）による活動を促進するとともに、プレイヤーの活動支援などのソフト面と道路整備等のハード面が連携した一体的な施策を推進し、にぎわい溢れるまちなかを目指します。



③ 多様な交通モードでまちなかへ快適にアクセスできる交通環境づくり

福井駅を起点とする来街者のまちなか観光やビジネスの発着地として、また、まちなかに暮らす人々の日常生活の場として、公共交通や自動車、自転車、徒歩など多様な交通モードで容易にアクセスすることができ、だれもが移動しやすい快適な交通環境づくりを目指します。



まちなかの将来像

- 中央エリアと大手エリアの回遊性向上
- 道路区域を活用したまちの魅力向上



写真：※1

- 路面電車が走る通りとしての道路空間構成の望ましいあり方について継続的に検討



写真：※2

- 道路区域を活用したまちの魅力向上



- 沿道施設等と連携した賑わいのある歩行者空間の創出



写真：※1

- 中央エリア、大手エリア、駅周辺エリアの回遊性の向上
- にぎわいの核を中心として生まれる活気や熱量を歩行者を介して拡散

- 城址周辺の回遊性向上と養浩館庭園を含めたエリアの魅力の磨き上げ



歴史を感じる憩いのゾーン

ゾーンの方向性

- ・城址公園として、訪れる人にまちなかの自然、歴史、文化を発信します。
- ・憩い、やすらぎを感じつつ、城址公園一帯としてのにぎわい創出や回遊性の向上を図ります。
- ・養浩館庭園へとつづく玄関口として人々を誘います。

みちづくりの方向性

- ・福井の自然、歴史、文化を感じ、楽しみながら移動できる道路をつくります。
- ・養浩館庭園へと人々を誘う道路をつくります。

- みんなで創る安全な自転車通行環境



写真：※3

まちなか居住ゾーン

ゾーンの方向性

- ・商業、業務機能や交通結節機能、自然、歴史、文化資源が集積するまちなかで、それらを身近に感じながら、便利に歩いて暮らすことができる場をめざします。

みちづくりの方向性

- ・主要施設やにぎわいの場と住宅地をつなぐネットワークとしての道路をつくります。
- ・住宅地内を安心安全に移動できる道路をつくります。

- 新幹線駅ホーム及び駅舎東口側からの景観を形成
- 駅舎へ向かう動線としての道路



にぎわい創生ゾーン

ゾーンの方向性

- ・歩行者や公共交通が中心で、にぎわいの中心となる空間をつくります。
- ・にぎわい軸から生まれる活気や熱量をゾーン全体に波及させます。

みちづくりの方向性

- ・まちなかのにぎわい軸や歴史の軸となる道路をつくります。
- ・にぎわいを感じ、楽しみながら歩くことができる道路をつくります。
- ・多様なまちづくりの主体と連携した空間活用を見据えた道路空間をつくります。

凡例

まちなか

- 公共交通を使ってまちなかへ



写真：※4

- DX技術を活用したまちづくり



※1：居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン-事例から学ぶその要素とポイント- 令和3年6月 国土交通省都市局まちづくり推進課より
 ※2：LRT等利用促進に向けて ICTを活用した利用促進施策と支援制度について 2010年5月 国土交通省 都市・地域整備局 街路交通施設課 公共交通係より

※3：金沢市まちなか自転車利用環境向上計画【中間見直し】平成28年3月 金沢市より
 ※4：JRおでかけネットHPより

<1> 歩いて楽しい、歩きたくなるみちづくりをめざす

北陸新幹線福井開業、福井駅周辺における市街地再開発事業の完成を見据え、まちなかを訪れる来街者やまちなかの居住者にとって、歩いて楽しい、歩きたくなるみちづくりを推進します。

①	道路改築による快適な歩行者空間の整備
実施施策	○道路空間構成の見直し [中央大通り] 【短期】 // [御本丸大手町線] 【短期】 // [東大通り] 【中期】
②	再開発事業等によるセットバック空間と一体となった歩行者空間の創出
実施施策	○市街地再開発事業により生み出される公開空地を活用した歩行者空間の創出 【短期～中期】
③	安全な自転車通行環境の整備
実施施策	○自転車通行空間の整備 【短期～中期】 ○安全性を向上させる路面表示等の設置 【短期～中期】
④	歩行環境が重視され、ゆとりある空間を演出する舗装の高質化
実施施策	○歩行者、自転車、自動車の動線及び交通マネジメントを考慮した舗装の高質化 【短期～長期】
⑤	ICT技術等を活用した集配送の効率化と荷捌き場所の集約化
実施施策	○ICT技術等を活用した配送の効率化と共通の荷捌き場所の集約化に向けた検討 【短期～長期】



<2> 人がまちなかを歩き、にぎわいを創る仕組みをつくる

まちなかで充実した時間を過ごせるような空間を提供することでまちなかの魅力を高め、回遊する人が増えることにより、まちなかににぎわいを創出します。

①	道路や広場等を活用するプレイヤーが使いやすい環境づくり
実施施策	○道路や広場を活用したにぎわいの創出 【短期～中期】
②	道しるべとなる案内サイン、路面表示の拡充
実施施策	○既設の拠点サイン、誘導サインの表記内容の再整理 【短期】 ○拠点サイン、誘導サインを補完する路面表示サインの設置 【短期】 ○駅舎、コンコース及び駅周辺部における案内サインの表記内容等の統一 【短期】
③	DX技術を活用した情報の伝達・取得
実施施策	○歩行者・自転車通行量調査の実施及び解析 【短期～長期】 ○ブロードバンド通信環境の拡充 【短期】 ○来街者へのタイムリーな情報発信 【短期～中期】 ○映像技術を活用した体験 【中期～長期】
④	だれもが利用できる回遊ツールの導入検討
実施施策	○回遊ツールとなる超小型モビリティや自動運転車両等の導入検討 【短期～長期】
⑤	安全な自転車利用を推進するマナー向上等の啓発
実施施策	○「押し歩き」区域の追加設定と「押し歩き」の推進活動及び広報の強化 【短期～中期】



<3> まちなかへのアクセス性の向上を図る

多様な交通モードが利用でき、だれもが訪れやすいまちなかにするため、様々な交通モードに対応した交通環境を構築します。

①	公共交通の利用促進
実施施策	○まちなかでのイベント、買い物等と連携した乗車割引制度等の実施 【短期～長期】 ○既存の乗車券等を活用した公共交通の利便性向上 【短期～長期】
②	利用しやすい自転車駐車場の整備
実施施策	○利用しやすい自転車駐車場の整備 【短期】 ○付加価値を付けた有料自転車駐車場の導入検討 【短期～長期】



③	「ふくチャリ」の機能の拡充
実施施策	○「ふくチャリ」の機能の拡充 【短期～長期】
④	自動車駐車場の利便性の向上
実施施策	○民間事業者が提供する駐車場情報アプリ等への登録促進 【短期～中期】 ○主要駐車場の満空情報の提供 【短期】 ○駐車場共通割引サービスの導入 【短期】 ○駐車場のサービス時間増加に向けた検討 【短期～中期】



戦略の数値目標

福井駅周辺地区交通戦略では、以下の項目を評価指標とする2030年(令和12年)の数値目標を設定します。

評価指標	基準値	目標値
歩行者・自転車通行量	26,910人/日	33,000人/日
来街者一人当たりの滞在時間	121分	130分
小売業年間商品販売額等 (小売業+宿泊業+飲食業の合計額)	372億8,000万円	435億円
まちなかの居住人口	3,918人	4,600人
中心市街地活性化についての満足度	42.1%	50.0%

戦略の進行管理

戦略の進行、評価指標となる数値データの継続的な取得及びPDCAサイクルによる進行管理については、庁内で定期的実施するとともに、必要に応じて福井市都市交通戦略協議会へ報告します。



第2次福井市都市交通戦略 福井駅周辺地区交通戦略 (概要版)

発行：福井市 都市戦略部 都市整備課
〒910-8511 福井県福井市大手3丁目10番1号
TEL：0776-20-5454 (直通) FAX：0776-20-5764
<https://www.city.fukui.lg.jp/dept/d360/compact/index.html>

